

■プログラミング競技における注意事項について

作成:2012 年 6 月 16 日(土)

審査員 榊 政彦

今大会のプログラミング競技について、下記の通り注意事項を申し送ります。

・課題のクラス分け

今回のプログラミング競技では、課題を二つのクラスに分けて出題しています。

初～中級編 20 点(満点)

中～上級編 40 点(満点)

二つの課題は、自分の取り組み易さを考え、いずれか一つを選択して取り組みます。競技時間内に課題クラスを変えることは自由です。選択の最終的な決定は、競技終了時で構いません。

・競技における事務局からの配布物

プログラミング課題:「初～中級編」、「中～上級編」、「課題提出用紙」

課題ソースファイル:USB メモリ(ソースファイル、ヘッダファイルなど)

! 課題の資料には、それぞれの点数も明記されています。プログラミングに入る前に課題をよく読んで取り組みましょう。

・課題の動作確認

挙手により、審査員へ課題の動作確認依頼 を表明してください。

課題の動作確認は、提示されている課題毎に行っても構いませんし、幾つかの課題をまとめて動作確認をしても構いません。このことは、競技者の方がご選択ください。

競技終了直前での挙手は可能です。 競技終了後、動作確認をします。

挙手(動作確認依頼)されないと動作確認はできません。

挙手が多く、審査員の動作確認を待つことが考えられます。CPU には、動作確認用のプログラムをロードして審査員を待ちます。

プログラミング作業は、進めてください。